



令和2年度宮古港フェリー利用促進協議会 事業実績について

宮古港フェリー利用促進協議会事務局

ア 利用創出事業

○事業計画 宮古港利用促進のための PR 活動及び新規利用貨物の創出、掘り起こしを図るため、貨物に関する調査を実施。

○事業実績

①ポートセールスの実施

岩手県: 令和2年 7月21日(火)・1社
7月22日(水)・2社×2回
11月10日(火)・2社
12月15日(火)・1社
令和3年 1月15日(金)・2社
1月18日(月)・1社
2月16日(火)・1社
北海道: 令和2年11月12日(木)
～14日(土)・5社

②ポートセミナー

「いわてポートフォーラム 2021」(花巻市)への参加
※新型コロナウイルス感染症の影響により県内開催に変更
実施日: 令和3年2月12日(金)
出席者: 106人(企業・行政機関等)



③航路利用意向調査の実施

「令和2年度宮古港フェリー寄港再開等に向けた港湾利用貨物の動向調査」

目的: フェリー寄港再開及び宮古港の利用促進に向けた貨物の確保・増加を図るため、貨物量と物流動向を把握する。

実施期間: 令和2年10月23日(金)～11月6日(金)

調査対象: 平成30・31年度に宮古港フェリー利用促進協議会が実施した「宮蘭フェリー物流効果等実証事業」で回答を得た貨物の発着地のうち、安定的な利用が見込まれる宮古港の背後圏からのベースカーゴを想定した、岩手、青森、秋田、宮城県(一部)の荷主

実績: 調査対象者数 875、回答者数 226、回答率 25.83%

イ 交流促進事業

○事業計画 室蘭市及び胆振広域との交流の継続・発展を図るため、イベントやポートセールスでのPRを実施。

○事業実績

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 要望事業

○事業計画 フェリー航路宮古寄港早期再開、フェリー航路利用貨物の創出等に向けて、航路再開要望、道路・港湾等整備要望を実施。

○事業実績

①航路再開要望の実施

令和2年 6月23日(火)・釜石港湾事務所への要望

6月29日(月)・東北地方整備局、東北運輸局への要望

6月30日(火)・県選出国會議員、財務省、国土交通省等への要望

11月 4日(水)・東北地方整備局、東北運輸局への要望

②航路利用調整会議等の実施

令和2年 7月 8日(水)・川崎近海汽船株(八戸支社)との協議

7月21日(火)・宮古・室蘭フェリー航路利用調整会議